

「ふたば救急総合医療支援センター」による医療支援について

平成 28 年 4 月、双葉地域の二次救急医療の確保と広域的な総合医療支援を目的として、福島県立医科大学は、「ふたば救急総合医療支援センター」を設置しました。平成 30 年 4 月に「福島県ふたば医療センター附属病院」が富岡町に開院されたことから、同病院に対する医師派遣や遠隔診療による支援のほか多目的医療用ヘリコプターの運用支援を通して、双葉地域の医療提供体制の整備へ向けて全面的に支援しています。

ふたば救急総合医療支援センターの主な事業内容

福島県ふたば医療センターの支援

■ふたば医療センター附属病院への医師の派遣調整と診療支援

■ふたば医療センターと連携し、地域医療に関心を持つ学生の受入れ

■双葉地域で開催される研修会・講習会等の支援

双葉地域の住民等への医療支援

■未治療者・重症化予防の個別指導

基礎疾患を有していながら管理が十分にできていない、或いは医療に結び付いていない住民の健康の悪化・重症化予防対策の支援

■認知症の早期診断・対応の支援強化

双葉地域 8 町村が設置する認知症初期集中支援チームへの認知症サポート医の派遣協力、会議開催の支援

■広報紙発行

双葉地域 8 町村の住民と県内避難者に対し、ふたば医療センターの取組と生活習慣病の予防について情報発信

1 ふたば医療センター附属病院に対する医師派遣等支援

(1) ふたば医療センター附属病院の診療体制

ア 365 日救急診療を医師 3 名以上で実施

- (ア) 日当直医師 2 名：24 時間勤務（救急・外科医及び内科医）
- (イ) 病棟担当医師 1 名：日勤
- (ウ) 多目的医療用ヘリ搭乗医師 1 名：
（令和元年 6 月 1 日から休日を含む 3 6 5 日運航体制）

イ 勤務医師数

- (ア) 平 日／日勤帯 4～5 名、夜間帯 2 名
- (イ) 土日等／日勤帯 3 名、夜間帯 2 名

(2) ふたば医療センター附属病院への医師派遣・診療支援

ア 医師派遣調整

支援担当医師の勤務調整

- (ア) ふたば救急総合医療支援センター医師（日当直、日勤病棟担当（兼）多目的医療用ヘリ担当）
→ 多目的医療用ヘリに関しては、平成31年4月から担当医師を増員するとともに、6月1日からは土日等休日における勤務割当を実施
- (イ) 学内ふたば支援枠 11 講座医師（日当直担当）
- (ウ) 学外支援医師（土日の日当直）

イ ふたば医療センター診療支援

- (ア) 医大放射線科の画像読影支援
医大に設置されたふたば医療センター附属病院の情報端末を通して、医大放射線科が放射線画像の評価を実施(24 時間体制)
- (イ) 医大整形外科の遠隔診療支援
骨折事例等、整形外科疾患について医大整形外科によるコンサルティングの実施(24 時間体制)

2 双葉郡町村等と連携した住民への医療支援の取組

(1) 糖尿病等、疾病予防対策の健康づくり支援

避難住民に対する生活習慣病等の疾病予防対策として、ふたば救急総合医療支援センター医師による講習会等を開催し、健康寿命や疾病予防の啓発を行った。

平成30年度 双葉町 糖尿病予防対策

- ・健康づくりサポート教室（郡山市・2回）：医大健康調査課と共同実施
- ・県北地区栄養教室（福島市・1回）：県栄養士会と共同実施

(2) 未治療者・重症化予防対策の個別指導支援

ア 平成29年8月から、双葉地域の帰還者及び応急仮設住宅、災害復興住宅等に避難している住民のうち、生活習慣病(糖尿病、高血圧症等)、認知症、アルコール依存症等を抱えているものの、治療を放置、中断しているなど、未治療の住民に対して、医師が自宅を訪問し医療機関の受診に結びつけるための個別指導を実施

イ 平成30年4月1日 県立医大附属病院、ふたば医療センター附属病院及び双葉地域8町村の三者間で「未治療者・重症化予防対策の個別指導実施事業に関する協定書」を締結

年 度	支援対象者	成 果
平成29年度	20名	医療機関受診12名
平成30年度	3名	医療機関受診 3名
令和元年度	1名	栄養状態改善のため食事宅配事業の利用開始 1名

(3) 認知症初期集中支援チーム支援

ア 平成30年4月2日 県立医大附属病院、ふたば医療センター附属病院及び双葉地域8町村の三者間で「認知症サポート医の派遣に関する協定書」を締結

イ 認知症患者やその家族に対し、早期診断、早期対応に向けた支援を行うために町村が設置する認知症初期集中支援チームの会議への認知症サポート医の派遣や会議開催の支援を行った。

年 度	支援対象者	支援終了	継続支援	支 援 終 了 の 主 な 理 由
平成30年度	5名	3名	2名	入院治療の開始 介護家族のストレス軽減
令和元年度	3名	3名	2名	家族間協力体制の構築 徘徊行動の鎮静化
令和2年度	0名	1名	1名	脳疾患治療による改善

※令和元年度以降の「支援終了」、「継続支援」には前年度の支援対象者を含む。

3 地域ケア会議における支援

双葉地域以外の避難先仮設庁舎等で実施される地域ケア会議、個別ケース会議等に出席し、帰還者や避難者の医療課題についての助言及び在宅訪問患者のニーズを調査

平成30年度：大熊町 地域（避難先）ネットワーク会議に参加：6回

4 行政、福祉、介護等職員に対する研修会開催等

双葉地域の自治体、地域包括支援センター、社会福祉協議会、相双地区を含めた県内医療スタッフ等の関係団体職員に対する研修会・講習会の開催又は開催支援

平成28年度	1回（メンタルヘルス）＊
平成29年度	6回（認知症、成年後見人制度、メンタルヘルス、糖尿病、COPD、嚥下・誤嚥）
平成30年度	7回（心停止回避コース3回＊、救護1回＊、神経救急蘇生2回＊、福島県における僻地診療に関する講義1回）

※「＊」を付したものは、開催を支援したもの

5 広報紙の発行

双葉地域8町村の住民及び県内避難者とのコミュニケーションツールとして、ふたば救急総合医療支援センターの取組の周知や生活習慣病予防の啓発を行うため広報紙を発行

(1) 発行部数：1回あたり約25,000部

(2) 発送方法：

ア 福島県避難者支援課による「ふるさとふくしま情報提供事業」の活用により県内避難者へ発送

イ 双葉8町村発行の広報誌への差し込みにより双葉地域住民等へ発送

(3) 実績

ア 平成30年度：5月、9月、11月、3月 発行

イ 令和元年度：11月、3月 発行

6 避難地域医療機関等の診療状況等の周知

平成30年度、町村の地域ケア会議において双葉地域の医療機関等（医療、歯科、福祉、介護施設等）の開設状況を説明

